

平成17年度年度計画変更事項及び変更理由

(下線部は変更箇所)

変更後	変更前 (平成 18 年 2 月 16 日変更版)	変更理由
<p>・国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1. 自律的宇宙開発利用活動のための技術基盤維持・強化</p> <p>(A) 宇宙輸送系</p> <p>(3) <u>H- B ロケット</u>(H- A ロケット能力向上形態) H- A ロケット標準型と主要機器を共通化し維持発展した輸送能力向上型の開発として、基本設計等のシステム設計及び各サブシステムの開発試験等を実施する。</p>	<p>・国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1. 自律的宇宙開発利用活動のための技術基盤維持・強化</p> <p>(A) 宇宙輸送系</p> <p>(3) H- A ロケット能力向上形態 H- A ロケット標準型と主要機器を共通化し維持発展した輸送能力向上型の開発として、基本設計等のシステム設計及び各サブシステムの開発試験等を実施する。</p>	<p><u>中期計画の変更に伴う変更</u></p>
<p>3. 国際宇宙ステーション事業の推進による国際的地位の確保と持続的発展</p> <p>(5) セントリフュージの開発等 <u>JEM 打上げ費用代替の一部として、NASA において ISS の中で重要な実験施設である生命科学実験施設(セントリフュージ)について、人工重力発生装置(CR)、人工重力発生装置搭載モジュール(CAM)及びライフサイエンスグローブボックス(LSG)の開発を行い、NASA が必要とする成果として、配電装置を除く国際宇宙ステーション共通品等の機器・部品を引き渡す。</u></p>	<p>3. 国際宇宙ステーション事業の推進による国際的地位の確保と持続的発展</p> <p>(5) セントリフュージの開発等 生命科学実験施設(セントリフュージ)について、以下の作業を実施する。 ・人工重力発生装置(CR)について、設計、試作モデルの試験を進めるとともに、フライト実機の組立てに着手する。 ・人工重力発生装置搭載モジュール(CAM)について、設計、フライト実機の組立て、及び試験を進める。 ・ライフサイエンスグローブボックス(LSG)について、設計、フライト実機の組立てを行い、試験を実施する。</p>	<p><u>中期計画の変更に伴う変更</u></p>